

# 令和5年度 学校図書館活用推進実践報告

新潟市立味方小学校

## 1 味方小学校の児童の実態

- ・味方小では週に2回、全校朝読書・昼休み後の読書（15分のモジュール）を設定している。全校読書時間や図書館利用の時間は、落ち着いて読書をする雰囲気がある。
- ・休み時間に借り替えをするなど、自発的に図書館を利用する児童も多いが、学級の割り当て時間しか本を借りない児童もいる。高学年になるにつれ、読書の量や質の個人差が大きくなる傾向にある。
- ・昨年度（R4年度）の1人平均貸出冊数は、66冊であった。
- ・自分で必要な図書資料を見付けたり選んだりすることができない児童、資料を見付けても情報を活用することができない児童が多い。

## 2 味方小学校の取組

### (1) 読書センターとして

#### ① 図書館整備，管理

- ・季節の本の展示，分類別の本の配架，古い本の廃棄，人気の本を図書館の奥へ配置，季節の掲示を行った。



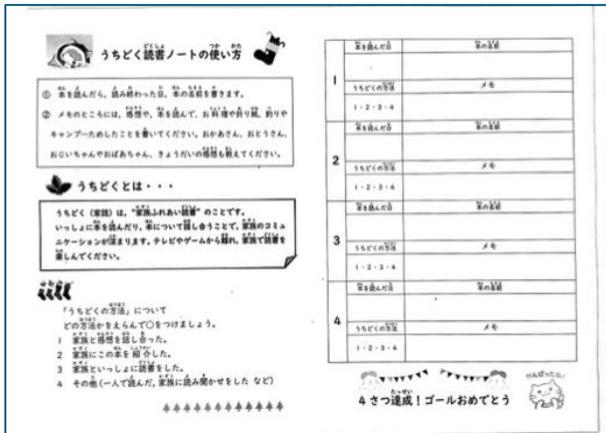
#### ② しおり・特別貸し出し券プレゼント

- ・決まった冊数（30冊，60冊，100冊，130冊・・・）を達成するごとにしおりをもらえるようにした。しおりは，図書委員や希望者が絵を描いたものをラミネートして使用した。
- ・1枚で100冊まで記録するカードを使用し，次のカードに進んだ人には，シールやポストカードなど特別なプレゼントをもらうことができるようにした。
- ・くじ引きなどの特別なイベントで，貸出冊数を増やせる「プラス〇冊券」や「禁帯出の本を借りられる券」などをもらうことができるようにした。

「くじを引きたいから本を借りよう」と，図書館へ向かう児童が増えた。そして，「プラス〇冊券を使おう」と，さらに本を借りて読もうとする姿が見られた。

### ③ うちどく

- ・保護者に、読書の大切さを理解してもらい、家庭での読書習慣を付けるきっかけとなるよう、読書旬間や長期休みの課題として「うちどく」を実施した。



### ④ 図書委員会の活動

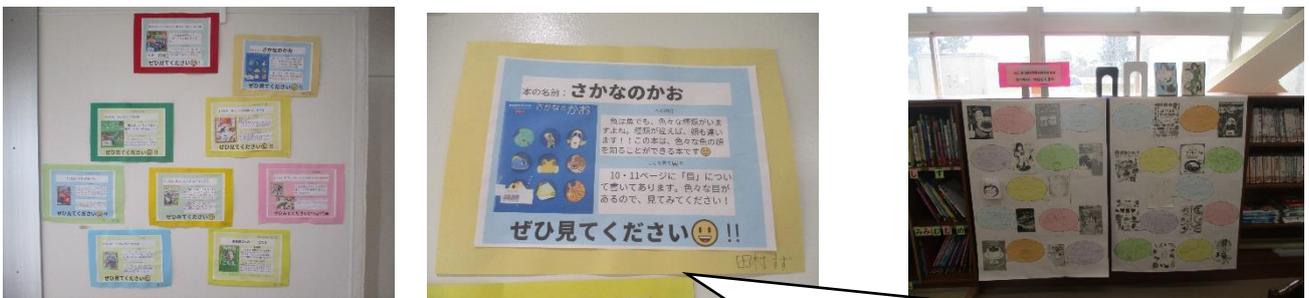
- ・図書委員会主催のイベントを定期的実施した。図書委員が扮するじゃんけんマンとじゃんけんをして勝つと「プラス〇冊券」がもらえる等。
- ・読書旬間の図書委員による各学級での読み聞かせ、音読劇のビデオ放送等を行った。



楽しい企画に参加することで、図書館への関心が高まった。

### ⑤ お薦めの本の紹介

- ・こいのぼりカード、短冊コンテスト、ハロウィンカード、飼育栽培委員会の紹介文、味方中学校のポスター掲示等、いろいろな本の紹介カードを図書館や図書館の廊下に掲示した。



紹介カードが本との出会いのきっかけとなり、本への興味が広がった。「自分も読んでみよう」と、読書への意欲喚起となった。

## ⑥ 読み聞かせ

- ・ボランティアの方に来ていただき、各学年に読み聞かせを行った。
- ・図書委員会のイベントとして読み聞かせを実施した。
- ・希望する学級で図書の時間に司書が読み聞かせを実施した。



## (2) 学習センターとして

### ① アンケート用紙の配付

- ・前期にアンケート用紙を配付し、学習に必要な図書資料をスムーズに活用できるようにした。

### ② 図書館利用記録の作成とレファレンス資料の保存

※ 別紙資料

教科	学年	単元名
国語	3年	食べ物のひけつを教えよう
資料を使う目的や 利用方法	iPad撮影 → 生徒へ	
具体的な内容・ キーワード	おなごにかえぬ食べものかん 教科書掲載の冊ありか？	
使用月	11月～12月	一冊の あり。 [大豆・米・麦・小麦のし...]
ご要望	貸出	

## (3) 情報センターとして

### ① 調べ学習カードの作成

- ・調べ学習カードを活用したことで、調べる内容や資料について司書に相談しやすい環境となった。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

- ・全校の貸出冊数が、R4年度：66冊（年間）から、R5年度：96冊（4月～11月末）に増加した。
- ・授業における図書提供数が、R4年度：7件（年間）から、R5年度：14件（4月～11月末）に増加した。

### (2) 課題

- ・今年度より図書館利用記録とレファレンス資料の作成を行った。来年度教科書が替わるため、連携サイクルをどのように行うのか検討し、今年度の取組を生かしていく。